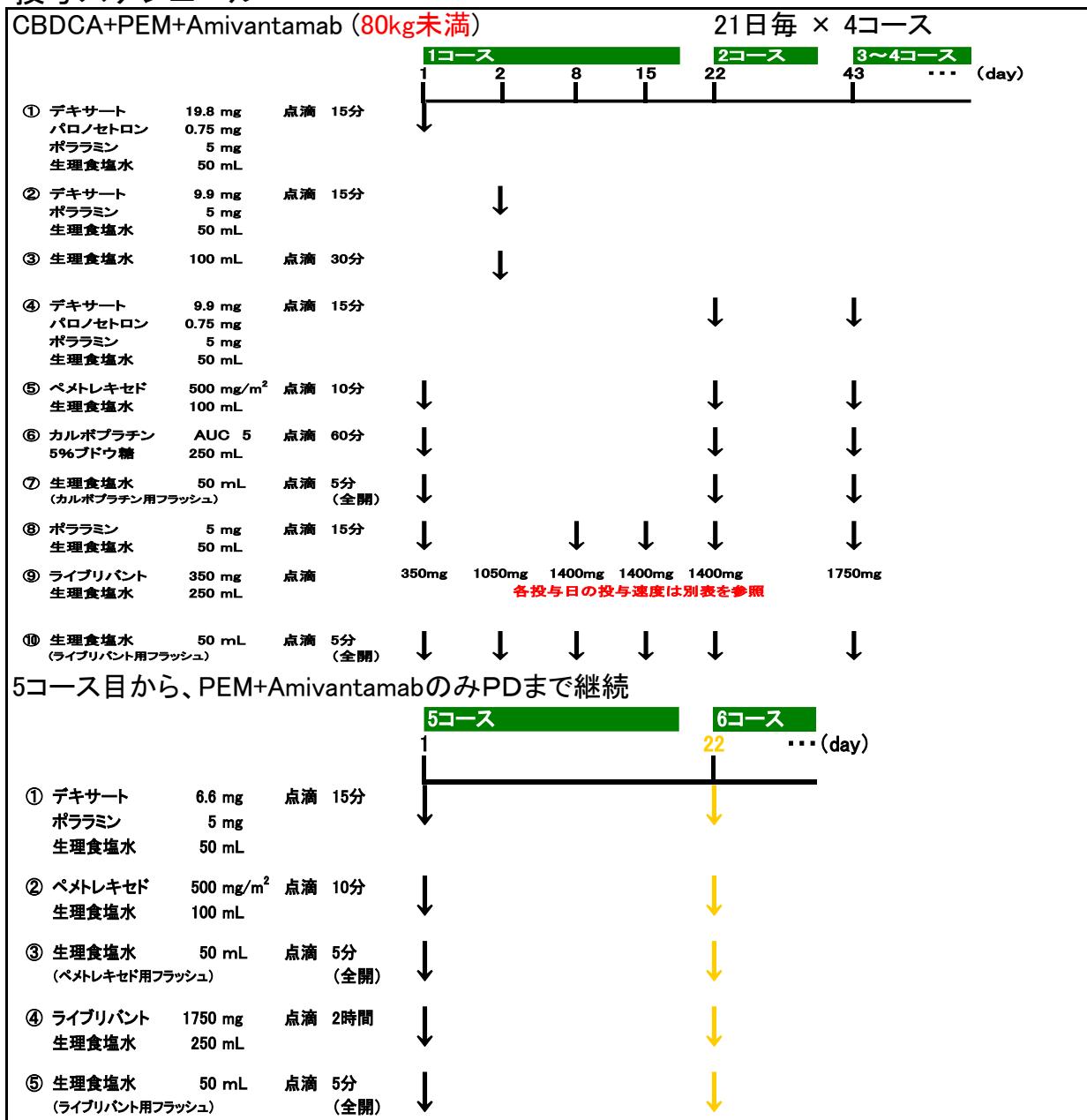


登録日	2025/8/26
腫瘍名	非小細胞肺がん

登録番号	Nscl051
申請医師	呼吸器内科

投与スケジュール



注意事項

- ・適応: ①非扁平上皮癌 EGFR遺伝子変異陽性(exon20挿入変異)陽性
②オシメルチニブ単独治療後に増悪したEGFR遺伝子変異陽性(exon19欠失変異又はexon21L858R変異)
- ・インフュージョンリアクション予防対策
 - ①カロナール
1~4コース目のDay1は、前投薬開始前とライブリバント投与の30分前に、カロナール1000mgを投与する。
上記に該当しない日は、ライブリバント投与の30分前に、毎回、カロナール1000mgを投与する。
 - ②デカドロン1回8mg 計5回投与を考慮する(1コース目のみ)
(Day1の投与2日前から朝夕食後で投与、Day1ライブリバント投与の30分前に投与)
- ・ライブリバントは、インラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用する。
- ・ライブリバントは、輸液ポンプを使用する。
- ・ペメトレキセド開始7日以上前から葉酸0.5mgを連日経口投与する。レジメンを中止または終了する場合には、最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。
- ・少なくともペメトレキセド開始7日前に、ビタミンB12として1回1mgを筋肉内投与する。
治療期間中及び投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与する。
- ・CBDCA量(mg)=AUC X (GFR + 25) GFRはCLcrを代入する。
- ・皮膚障害対策セットあり
- ・減量、休薬基準、有害事象対策は、ライブリバントの適正使用ガイドに準じる

参考文献

- 1) Annals of oncology, 35, 77–90 (2024).
2) 各薬剤添付文書(ライブリバント2025年5月版、ペメトレキセド2025年6月改訂版、カルボプラチン 2025年5月改訂版)

投与速度表

80kg未満

コース	投与日	投与量	希釈液 抜き取り量	最終 容量	投与速度	
					投与開始時	投与開始2時間後
1コース目	Day1	350mg	7mL	250mL	50mL/時	75mL/時
	Day2	1050mg	21mL	250mL	33mL/時	50mL/時
	Day8	1400mg	28mL	250mL		65mL/時
	Day15	1400mg	28mL	250mL		85mL/時
2コース目	Day1	1400mg	28mL	250mL		125mL/時
3コース目以降	Day1	1750mg	35mL	250mL		125mL/時

80kg以上

コース	投与日	投与量	希釈液 抜き取り量	最終 容量	投与速度	
					投与開始時	投与開始2時間後
1コース目	Day1	350mg	7mL	250mL	50mL/時	75mL/時
	Day2	1400mg	28mL	250mL	25mL/時	50mL/時
	Day8	1750mg	35mL	250mL		65mL/時
	Day15	1750mg	35mL	250mL		85mL/時
2コース目	Day1	1750mg	35mL	250mL		125mL/時
3コース目以降	Day1	2100mg	42mL	250mL		125mL/時